



万才橋に歩道を

答 歩道を確保できるが

問 西森久雄

長者小の児童、保育所の園児の70〜80%が、旧万才橋を通学、通園に利用しており、車が通る時、大変危ない。事故が起これる前に歩道ができないか。

答 町長

新万才橋が完成した際に旧万才橋は町の管理となったが、歩道の増設は強度的にも難しく、歩道の新設は、多額の費用が必要となる。

橋は幅員4.5mあり長者、泉川地域で、大型車両の通行制限の協議が整えば、幅員1m程度の歩道を確保できる。
町も地域長会や区長会などを通じ、地域の意見を聞き検討していきたい。

議長一口メモ!

私は子どもの頃より清流長者川の恵みを受け生活してきた。

橋の上から水中の鮎を引っ掛ける玉ジャクリは高バネと言ひ、半世紀も続く仁淀の伝統漁法で数年前にはNHKテレビでも全国放送され、最近では近隣町村にも流行している。

先日駐在が「その高バネを止めろ」と言ってきた。理由は、通行人が危険だから」と私を名指しで電話があり、

相手は匿名、非通知とのこと。私は通行人やドライバーとトラブルになったことも、危険な目に遭わせたこともないと説明をしたが、上司の命令で公安委員会条例に抵触していると言う。警察と喧嘩(けんか)をしても勝ち目はなく、それ以後橋からの高バネはやめている。

天下の警察が匿名の密告電話に振り回され、不公平に権力を行使して良いのだろうか、又公安委員会条例をどのように県下に周知し、取り締りを行っているのか伺いたいものである。

若藤 敏久



万才橋 (長者)



十分だったか

答 精一杯PR

問 藤野格昭

「地域の宝、仁淀川町の神楽伝統文化」と題し、すばらしいイベントだったが、町内のある学校の教師が当日まで知らなかったとのこと。広報宣伝は十分だったか。

答 企画課長

ポスター500枚、チラシ1000枚を作成、公共施設、商店、区長に配布、掲示した。

近隣町村他にも掲示、4月29日RKCラジオ、高知新聞でも紹介してもらい、精一杯PRに努めた。

問 藤野

広報が遅れて届く所もあり、ホームページでもイベントを表に出してはとの意見もあるが。

答 企画課長

今後、意見を参考にPRに努める。

新規就農を

問 藤野

産業低迷の中、定住促進も踏まえ、ハウス、露地栽培ができるよう土地を造成し、新規就農を受け入れていく考えはあるか。

答 町長

町内には池川地区1.2ha、吾川地区3.4ha、仁淀地区7haで今までに土地造成をして、トマトや茶の栽培をしている。農業振興に向けたプロジェクトチームも設置し取り組みも始めた。必要に応じ検討していく。

問 藤野

長期的考えは。

答 町長

プロジェクトチームの中で検討する。

問 藤野

越知町では普及所の退職者が雇われていたが、本町では。

答 町長

今のところない。

吾北分校その後

問 藤野

吾北分校への通学バスは、帰りの便に問題があると聞くが。

答 教育長

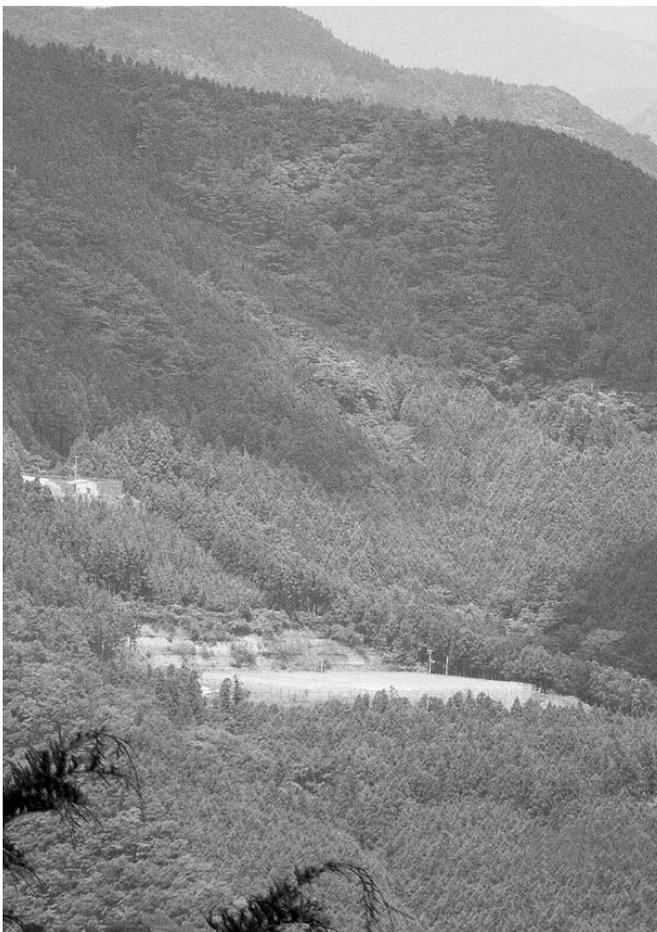
バス利用は全員ではなく、2年生からバイク通学を検討している生徒も

問 藤野

今後増える可能性もある。尚一層の努力を。

答 教育長

進学状況なども見、できることを考える。



山懐のトマトハウス (中)



道義的責任

答 免れることはできない

問 岡田 良成

ソニアの取締役は過去の経過や今後の体制をどうするか聞いたが、公的資金の投入は一切まかり通らぬとの思いである。

なぜ町にとってソニアが大事な疑問だ。町には「森の工場」に関わる5業者があり、他に事業に参画を望む3業者もいる。山で生計を立てている人も13人いる。また仕事が無い土木業者もいる。ソニアがなければならぬ理由にはならないと思う。大事なことは、ソニアが15億余円の資金をもって、議会に相談無く事業を進め、県の指導、指摘や議会からの見直し、中止すべきという指摘を受けながら借入金を作ったことで、会社の責任者は重い

責任がある。

答 町長

ソニアは、地域森林資源の利活用、就労の場などを目的に設立され、衰退しつつあった地域の素材生産力を補完する組織として活動してきた。

過疎債や県交付金などを活用し、町村の実質負担は1億2750万円、総額15億7000万円の資本金を確保し、木材加工事業に着手したが改善せず、加工設備の原価償却約5000万円が毎年損失額に加算され、損益悪化を加速させた。経営陣は改善に努めたが、結果的に有益な方策を打ち出せなかった。外部環境の悪化に加え、内部に問題、課題があったとはいえ、取締役

には経営の責めを免れることはできないと理解している。責任を放棄することはなく、対策に取り組む必要があると考える。

今後について、再生検討委員会を検討しているが、清算すると補助金の返還、退職金、税金など2億円の資金がいる。

町面積の9割が伐採期を迎え、適正な管理と資源の活用で地域の活性化につなげ、雇用の場の確保が大きな課題である。

ソニアのこれまでの経営には問題があったが、有効に活用し、町の活性化につなげていくことは重要と思う。

問 岡田

2億円の町民の大事な金をつぎ込んでソニアを継続する理由があるか。

「森の工場」の事業者、参入事業者、山を守る林家があり、ソニアがなくても山は守れる。ソニアがなくともやり方を変えれば森林組合やその他事業者の育成もできる。土木業者の育成、雇用の場もできる。この方が中身の濃い森林を守る方法ではないか。

答 町長

「森の工場」の成果も上がっており、付加価値を付ける意味でソニアは今後の運営方法によっては、活かせるのではないかと。いい方法で運営できれば、少ない資金でも可能ではないかと検討している。

問 岡田

J A コスモスや公庫からの借入金、木材乾燥機などの補助金など議会に相談がなかったが、理由は。

答 町長

公庫からの借入れは乾燥機などを整備する事業費で、5月末残高は3818万円。J A から借り入れた運転資金を補充するもので、返済は森林組合への担保にし、ソニア4取締役が裏保証人をしていて。現残高は4400万円。

木材乾燥機など施設整備補助金は、補助対象事業費1億4532万円に對する交付金9624万円が窓口の佐川町を通じて交付されたもので、事業を中止すると補助金の返還義務が生じるが、昨年末時点の補助金返還額は5300万円余との試算が出ています。

借入の経過その他は、直接タッチしていないので答えられない。

問 岡田

議会が全く知らない取締役の判断であり、会社側が借入れたもので保証人もいる。町民の税金で返済すべきでない。また乾燥機設備など補助金の問題も議論になろう。この問題に、副町長は一町民としてどうすべきと思うか。

答 副町長

借入金を税金、公金を投入し返済することは町民感情として納得できるものでないと理解している。ただ視点を考えると、公庫の借入れは施設を担保にしており、これを売却等すればそれで返済できるという理論の上にある借入金である。これを売却するのではなく、施設を有効利用する視点で考えており、間接的な公金投入という形で借金の清算も起こりうるかもしれないが、今は何も決まっていな。今後の対応策を検討しなければならぬ。

問 岡田

池川の28町歩の町有林をソニアが事業を行ったというが、清算は。

答 町長

大西地区の町有林を「森の工場」として21年7月から間伐事業をしてい

る。清算は本年9月。参考
に売上金額2037万8700円、m当たり7073円。その他作業道
関連の搬出材35.6m、
195万円でm当たり5476円。これに国、県の補助金、町の補助金加わる。

問 岡田

この事業も議会に諮られていない。町長とソニアの社長は同一人、ソニア救済のためではないかと憶測されても仕方ない。

答 町長

今後、町有林事業を一企業に任すのか、入札などを配慮するか。利益供与と言われかねないことはすべきでない。町長の考えは。

問 岡田

個人に利益供与的なことがあつてはならないので、きちんとした体制で臨みたい。

ソニアの事業がなぜこ
うなつたのか。取締役は責任を取るべきである。昨年末、議会は道義的責任を感じ、歳費を一定削減した。取締役は形の見える責任を感じていない。全国から注目のあつた事業であり、町民は後始末に注目している。町民の

答 副町長

感情を胸に答弁を。

会社に常駐の役員がいなかったことが、一つの原因だろうと感じている。途中、県の推薦により外部取締役が入り、強硬な意見を述べ施設整備を進めたが、方向性が出ず、計画不備があつたのではと推察する。

問 岡田

15億円の金は血税である。取締役社長の個人資金ならこの結果は出なかつただろう。町民の税金だから無責任な放漫経営

答 副町長

「一緒に再生を考えてくれ」でなく、取締役自らの責任でこうしたいと明らかにすべきだ。

僕の家の下には、長者川が流れている。僕はこの川で保育の頃から魚を捕り続けた。でもうまくいけば高

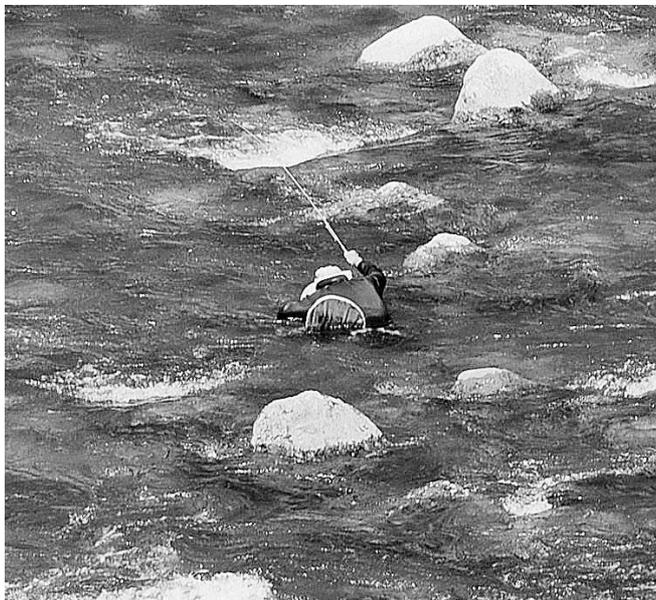


僕の家の下

ナギなどを父と一緒に捕り続けてきた。そして楽しんできた。そういう意味で、自分ちの下の長者川には、特別な思い入れがあります。いつも寝ながら、子守り歌のように、水の流れの音を聞いていました。そんなことを考えていると、さみしくなります。

仁淀中3年 農本 竜平

校は市内なので、今年で、この川とはいったんお別れすることになる。僕は、春はアメゴ、夏はアユやウ



アユ取り(長者川)

(本人からの申し出により、原文のまま掲載)

解決に必要な公益性も考慮し、必要な資金もあると思うので、適正な資金投入があるかもしれないが、慎重に対応したい。